

# わが町の家庭教育学級

## 田島町教育委員会

表1 学級の学習計画

事業の名称	田島地区家庭教育学級 ( )	
対象	田島小学校在籍児童生徒の親	
参加者	30人(男10人、女20人)	
実施場所	田島小学校	
実施期間	10日間(4月1日～2月28日)	
講師・助言者等	実人数15人・延人数30人	
重点学習課題	家庭における望ましい親子関係を図りつつ、家庭、学校連続して学習意欲向上と青少年の健全育成に努める。そのための基礎的教養と技術を学習する。	
学習内容 (学習テーマ)	学習方法	学習時間
1. 家庭教育学級を進めるにあたって (学習計画・家庭教育学級の意義、必要性)	講話、話し合い 協議・討議	2.0時間 (5月)
2. 家庭教育の機能について (家庭教育と学校教育の役割分担、家庭教育と道徳、現代社会の中での家庭)	講話・討議 講義・視聴 講義・話し合い 実習	6.0 (6～8月)
3. 家庭教育に与える諸問題について (親の権威と愛情、家族の人間関係、現代っ子の職業観)	講話・討議 講義・視聴 講義・話し合い 実習	4.0 (9月)
4. 青少年の健全育成について (青少年の非行を考える、非行の原因、非行防止運動)	講話・話し合い 実習	4.0 (11月)
5. 家庭における情操教育について (親子のふれ合い、人間性・知・情・意、よろこび、悲しみを考える。)	講話・話し合い 実習	4.0 (1～2月)
		計 20.0

一 (おしめ)

昭和四十三年、高度経済成長の中で児童生徒の健全育成の立場から、家庭教育の重要性を考え、公民館に、乳児を持つ親を対象した「乳幼児家庭教育学級」を開設し、その後、昭和五十一年に、小学校入学児童を持つ親を対象に「小学校家庭教育学級」を開設してきた。

昭和五十七年度は、過去六年間の小学校児童の親を対象とした家庭教育学級実施の反省から、「明日の親のため

の学級」に加え、三学級を補助学級に指定し開設してきた。特に本年度は、中学校の学習・生活面が社会問題になっていることにかんがみ、当町地区が県の生徒指導地域指定となったのを機に、中学生を持つ親を対象とした家庭教育学級を開設し、中学生を持つ親の教育への理解と、明るい家庭を築くための学習を目標にした。

小学校については、今までの実績から低学年生を主とした児童を持つ親に学校の役割・家庭の役割の理解と、しつけを中心に学習する学級とした。

学級生については、小学校各学年から希望者を募り、学級及び地域の実情に即した学習内容で、効果的に運営している。今年度開設の小学校、中学校について、次にそれぞれ紹介する。

二 田島小学校家庭教育学級

(1) 家庭教育学級へのとりくみ

現在、子供たちの非行の低年齢化があげられているが、これに対処するためには、学校・家庭・地域社会が相互の責任と連帯感を強めていくことが大切である。特に教育に携わる大人の意識の変革が必要である。そのために、「何をなすべきか」を問い、自らの修養に努め、信頼と温かさのある家庭づくりに取り組み場として、家庭教育学級が大きな役割を持つものと考える。このように家庭教育学級への取り組み姿勢を明らかにして、学級の学習計画を作成した。(表1)

(2) 田島小学校家庭教育学級計画

(3) 現状と問題点

① 運営上の問題

学級生に対する学習意欲を持続させるために、魅力ある運営をどのようにするかが、課題であり、そのために、視聴覚教材の活用や、バスセッションなどの方法を取り入れ楽しく学習できるように工夫している。

また、学習時間が夜間であることから、学級生の参加が十分得られないのが悩みである。

② 学習内容について